

厚生労働省 歯科保健課長

小椋 正之



<学歴>

平成6年3月 長崎大学歯学部卒業

平成7年3月 国立公衆衛生院（現 国立保健医療科学院） 専門課程修了

平成10年3月 岡山大学大学院歯学研究科修了

<職歴>

平成10年4月 厚生省入省（現 厚生労働省）

平成11年4月 富山県厚生部健康課

平成13年4月 厚生労働省医政局医事課試験免許室

平成17年4月 厚生労働省健康局総務課地域保健室、生活習慣病対策室

平成19年4月 厚生労働省老健局老人保健課

平成20年7月 近畿厚生局医事課長

平成28年4月 厚生労働省保険局歯科医療管理官

令和3年7月 厚生労働省医政局歯科保健課長

現在に至る

生涯を通じた歯科健診

経済財政運営と改革の基本方針（以下、「骨太の方針」という。）2022、骨太の方針 2023 では、「生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）」という文言が使用されている。

厚生労働省としても、口腔の健康は全身の健康を保つためにも重要であることから、生涯を通じた歯科健診に向けた環境を整備していくことは大切であると認識しており、当日は生涯を通じた歯科健診等に関する最近の動向について概説する予定としている。

<参 考>

経済財政運営と改革の基本方針 2022

全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）の具体的な検討、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療職間・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士の人材確保、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。

経済財政運営と改革の基本方針 2023

リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る。全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積・活用と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組の推進、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保の必要性を踏まえた対応、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。